

講義名	日本語総合B(1年生のみ)			授業形態	
担当教員	小笠原 愛子	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

### 主題と概要

大学生活で学部留学生として必要とされる日本語の読解力を身につける。  
日常生活及び大学での学修に必要な読解を中心とし、それに関連する語彙・文法・漢字なども扱う。  
文章や図を含む幅広い資料を扱い、内容理解や情報の抽出、要約なども行う。

### 到達目標

日常生活及び大学での学修に必要な日本語の読解力を身につける。  
読解に必要な文法・語彙を理解し、定着させる。  
多様な資料から、必要な情報を抽出できるようになる。  
文章を要約できるようになる。

### 提出課題

授業中に課題と小テストについて指示する。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題や小テストなどについては、授業内で解答を示し解説する。

### 評価の基準

課題・小テスト(30%)  
確認テスト(自35%×2=70%)

### 履修にあたっての注意・助言他

毎回出席をとる。  
5回以上欠席すると成績評価の対象外とする。  
15分以上の遅刻は欠席とみなす。  
遅刻5回で欠席1回としてカウントする。  
小テストには、テキスト内の語彙・漢字・文法を含む。

### 教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

### 参考図書

.日本語総まとめN2読解.	佐々木仁子・松本紀子	アスク	1430	9784866396057
.新完全マスター文法N2.	友松悦子・福島佐知・中村かおり	スリーエーネットワーク	1200	9784883195657
.日本語能力試験公式問題集大2選N2.	独立行政法人 国際交流基金	凡人社	700	9784893589378

### その他

授業中に資料を配付する。  
小テストには、テキスト内の語彙・漢字・文法を含む。

### 授業計画

- 第1回 ガイダンス(小テスト・定着確認テスト・成績評価・注意事項)  
第2回 日常生活で目にする文書を読む  
第3回 日常生活で目にする文書を読む  
第4回 日常生活で目にする文書を読む  
第5回 日常生活で目にする文書を読む  
第6回 意見文や説明文を読む  
第7回 意見文や説明文を読む  
第8回 確認テスト  
第9回 文芸作品を読む  
第10回 文芸作品を読む  
第11回 新聞記事を読む  
第12回 新聞記事を読む  
第13回 論議文を読む  
第14回 論議文を読む  
第15回 確認テスト

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(ALL型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

〔予習〕事前に配布した資料(テキスト)を読み、意味が分からない語彙について調べ、出てきた漢字を読み書きできるように練習しておく。  
〔小テストのための学習〕上記の語彙・漢字を含む小テストの範囲を学習する。  
〔復習〕授業内容の定着のため、演習問題や小テストは必ず見直しをし、テキストの音読や文・語彙・漢字の書写などをする。  
(計4時間)

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした日本語科目群のうち、特に読解力を養う授業である。本学で学び、真に豊かな社会の実現に貢献するビジネスパーソンとして活躍するための学識と能力を身につけるための基礎となる日本語能力を養う。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

### 実務経験の有無及び活用

### 備考